学校番号	1006

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校「現代社会」新訂版　（清水書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会は、「政治分野」・「経済分野」・「倫理分野」と３つの学習内容で構成されています。「政治分野」では、日本国憲法、国会・内閣・裁判所そして選挙制度と、有権者として重要な内容を学習していきます。
「経済分野」では、市場経済、景気の変動、財政政策・金融政策、社会保障や環境など、私たちをとりまく経済状況について理解し、今後少子高齢社会への持続可能な経済についても考えていきます。
「倫理分野」では、青年期と自己形成、哲学や思想など、「生き方・考え方」や「人間のあるべき姿」などについて学習し、人生のよりよい「生き方・考え方」について深く追究していきます。
学習内容は少し難しいですが、プリント・教科書で復習をしっかり行って下さい。適宜、小テスト等を行い、理解の定着をはかります。

2　学習の到達目標

・人間を愛し尊重する精神を、幅広い視点に立って、理解すること。
・自分の在り方や生き方について、しっかりと考え基礎を養い、良識ある人間として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の諸課題について関心を持ち、自分の生き方に関連させながら考える態度を身につける。	現代社会の諸課題について自分と、さまざまな人々の立場や考え方を公正に判断し、適切に表現できるようにする。	現代社会の諸問題を新聞記事などから適切に収集、選択し、効果的に活用する。	現代社会の在り方を考える基盤として、人間としての幸せや、正義と公正についてきちんとその知識を身につける。
評価方法	定期考査 提出物 姿勢態度	定期考査 提出物 姿勢態度	定期考査 提出物 姿勢態度	定期考査 提出物 姿勢態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代社会の諸問題	・地球環境問題 温暖化、砂漠化、酸性雨、オゾン層破壊 ・資源、エネルギー問題	○	○	○	○	a:地球規模でおきている問題について関心を持つ b:自分はどうすべきかを考え判断する c:資料を読み解く力 d:地球全体のことを自分のこととしてとらえている	定期考査 提出物 姿勢態度
1学期	民主政治と政治参加	・民主政治の基本原理 ・日本国憲法の人権保障 ・国民の政治参加	○	○	○	○	a:どのようにして日本国憲法が成立したのか関心を持つ b:三権分立の理解 c:模擬投票 d:有権者としての自覚と政治参加への行動	定期考査 提出物 姿勢態度
2学期	国際社会の動向	・経済のグローバル化とナショナリズム ・日本の領土問題 ・財政政策と金融政策 ・企業と労働問題 ・消費者問題	○	○		○	a:資源のない日本はどう生きるかへの関心 b:歴史から学び、自分で考え判断する力 d:日本の領土問題に対する正しい理解 d：かしこい消費者になれるか	定期考査 提出物 姿勢態度
2学期	国際社会と日本	・日本の安全保障 ・日本の平和維持活動 ・国際連合と国際平和 ・核兵器と軍縮の問題	○	○		○	a:国際紛争について b:日本ができる国際貢献 d:自分ができる国際貢献	定期考査 提出物 姿勢態度
3学期	青年期と自己形成	・命について ・自己実現 ・社会とのかかわり ・よりよく生きるために	○	○		○	a:自分が何者であるかということに興味関心をもつ b:様々な考え方や立場があることを知る d:自分と他者の命を大切にできる	定期考査 提出物 姿勢態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:　資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。